

6 センターサイディングの重ね張り工法

6-2 施工上の注意事項

5) 先付け付属部材の施工ポイント

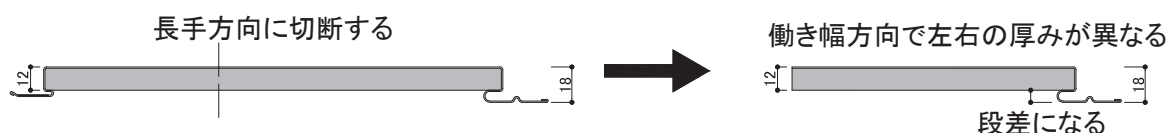
- 土台水切、出入隅の受け、見切縁などの先付け付属部材は、専用ビスで胴縁に留め付けてください。
- 先付け付属部材の継ぎ部分は、カバーなどの後付け付属部材の浮き上がり防止のため、十分に押さえて固定してください。
- 土台水切やスターターは、水準器などを用いて水平を確認してください。
- 受けなどの先付け付属部材は、捨てシーリングを施工します。ダムにならないよう注意してください。（位置については、各部詳細図をご参照ください。）
- 中間水切は、下部のセンターサイディング本体の施工後に取り付けます。
- 出が少ない開口部まわりは、胴縁にアングル20×40を取り付けて胴縁をカバーします。

6) センターサイディングの留め付けについて

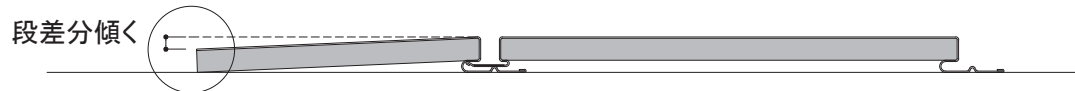
- センターサイディングおよび付属部材は、下表のビスで留め付けてください。

既存壁	下実部留め付け	表面より留め付け	専用部材の留め付け
モルタル下地	品番:JK1130 重ね張り専用ビス ($\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)	品番:JK1710 ステンレスビス ($\phi 4.1\text{mm} \times 27\text{mm}$)	品番:JK1130 重ね張り専用ビス ($\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)
窯業系サイディング	品番:JK1710 ステンレスビス ($\phi 4.1\text{mm} \times 27\text{mm}$)	品番:JK1710 ステンレスビス ($\phi 4.1\text{mm} \times 27\text{mm}$)	品番:JK1130 重ね張り専用ビス ($\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)

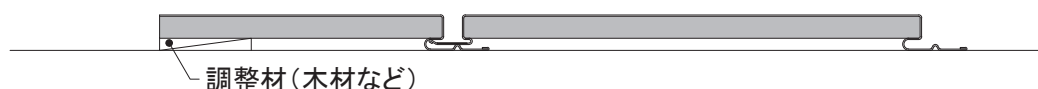
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認してください。
- 糸目地タイプのセンターサイディングのうち、F型、FB型、FN型は、変形防止のため、強く押しつけながら差し込まないでください。
- A型を施工する場合には下記の点に注意して施工してください。
 - ① A型を長手方向に切断すると、実形状および芯材の厚みにより、働き幅方向の厚みが変わります。



- ② このまま施工すると、張り始めと張り終わりで本体が傾いてしまいます。(下図○部)



- ③ ②の状態では外観や役物との納まりが悪いため、面があうように調整材を追加します。



- ④ 端部に付属部材を施工する場合には、付属部材の厚みを考慮して調整材を選定してください。